

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：南丹市

プロジェクト名	暮らしの安心・安全プロジェクト	実施期間	H26～H29	テーマ	まちの安心・安全	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	近年、地震や台風を始めとする自然災害は、従来の想定を上回る甚大な被害を発生させており、防災対策は重要な課題である。 市民の暮らしを守るため、防災・災害対応となる情報対策の構築、災害時の地域防災計画の更新などの体制強化を図るとともに、日常の安全対策としての防犯対策、交通対策さらには原子力防災対策まで市民の暮らしを守る事業が求められている。						
プロジェクトの目的及び概要	地震や大雨などの自然災害、原子力発電所事故、交通事故などの人為的災害から市民を守り、また、事前事後などの災害対策などを講じることによって市民の安心・安全を確保する。また、国や府、関係機関との連携を強化し、市民生活の安全を守るための事業を総合的に実施する。						
	総事業費（千円）	256,929	本年度事業費（千円）	89,290	交付金額（千円）	37,173	
プロジェクトを構成する事業の平成28年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	公衆防犯灯設置事業	交付金対象事業	公衆防犯灯の新設		集落から要望のあった防犯灯の新設工事を行った。		
	防犯推進事業	交付金対象事業	防犯カメラの設置		市内4箇所に防犯カメラを設置し、犯罪の未然防止に取り組んだ。		
	公共土木施設改修	交付金対象事業	道路・河川の改修		道路及び河川の改修を行い、安全確保に努めた。		
	防災推進事業	交付金対象事業	防災用備蓄品、救助用具等の整備		台風・大雨時の防災体制の充実強化を図るため、防災備蓄品等を整備。		
	公民館改修計画策定	交付金対象事業	2館の公民館の改修計画策定		公民館基本計画案の作成により、園部・八木公民館の耐震強度不足への対応の方向性協議を進めることができた。		
	学校給食管理事業	交付金対象事業	真空冷却機、検食用冷凍庫購入		衛生的な施設環境を整備するために必要備品を購入。		
	道路除雪事業	交付金対象事業	除雪作業車の格納庫の整備		道路除雪計画に基づき管内幹線道路の除雪を行うため格納庫の整備を行い、道路利用者の安全確保に努めた。		
	幼稚園園庭整備事業	交付金対象事業	園部幼稚園の園庭整備		園庭を整備し、安心・安全で良好な就学前の教育環境を整備。		
	八木地域防災広場整備事業	関連事業	災害時に活動拠点となる施設を整備		防災広場測量設計業務を実施		
	日吉地域防災広場整備事業	関連事業	災害時に活動拠点となる施設を整備		防災広場測量設計業務を実施		
	AED更新事業	関連事業	AEDバッテリー、パッドの更新		体表用除細動パッド、自動体外式除細動器バッテリーの更新を実施		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：南丹市

	高齢者運転免許証自主返納支援事業	関連事業	運転免許証を自主返納される高齢者に対する支援	免許返納者に路線バス、タクシー共通利用券の支給を実施 (支給決定者 73人、平成28年度返納者 58人)	
	給食放射性物質検査事業	関連事業	保育所、小中学校の給食に対する放射性物質検査	保育所(9ヶ所)学校給食共同調理場(4ヶ所)月1回検査を実施 ※検査結果は公表	
	小学校跡施設利活用推進事業	関連事業	定住サポートセンターのバリアフリー化	多目的トイレとスロープを新設し、利用者の利便性の向上を図った。	
住民協働事業	消防団活動推進事業	交付金対象事業	救助用長靴購入	団員装備品の整備等により消防団員の安全管理と予防警防活動の充実化。	
	地域振興事業	関連事業	地域と大学の連携に対する補助	大学と地域とが連携して行う事業に対する、南丹市が活動拠点となる2事業に対して補助金として交付。	
成果指標①	成果指標の目標数値	避難所等の拠点施設の未耐震化数 32施設		成果指標の実績値 (H29年3月31日時点)	35施設
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	計画的に耐震化への取り組みはできているが、引き続き耐震化が必要な施設の整備を行っていく。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標②	成果指標の目標数値	防犯カメラの設置件数 H28 6台		成果指標の実績値 (H29年3月31日時点)	4台
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	市が設置した防犯カメラは4台であったが、商店街が設置した防犯カメラに対する補助を行っているため、目標数値はほぼ達成できた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標③	成果指標の目標数値	刑法犯認知件数 H28 73件		成果指標の実績値 (29年〇月〇日時点)	
	成果指標の達成状況	-	(左の理由)		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	公表資料がないため	(時期)
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	市民、行政が一体となり防犯活動の体制を強化するとともに、今後も防犯灯や防犯カメラの計画的な設置や適正な維持管理を推進する取り組みができた。また、住民の安心・安全を確保するために必要な備品を今後も計画的に配備していく。				
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：南丹市

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	台風や豪雨などの風水害や南海トラフ地震などの有事の際に活用できる拠点施設を整備を進める。
	住民の自治意識を高める成果	地域の安心・安全を確保するため、防災・防犯等に幅広く対応する地域拠点の整備や災害用備品の備蓄に取り組むことが重要となっている。